



環境配慮型の紙製品を展開

—紙の可能性を追求しプラスチック使用量を削減—

創業90年の紙問屋。「お客様の支えとなる、縁の下の力持ち」の姿勢で顧客の相談や課題に対応してきた結果、各種特殊紙、特許商品、プライベートブランドなど幅広い商品の取扱いにつながっています。伝統で培ったものを大切にしながら、常に新たなものへ挑戦し、水に強く、破れにくい紙「アドベック」や、遠くからでも見える透かしを入れた和紙など、紙の利用価値を高めることで、脱プラスチックに貢献するなど、SDGsの取組を進めています。

所在地 埼玉県比企郡小川町大塚108
 電話/FAX 0493-72-0030 / 0493-74-1086
 代表者 代表取締役社長 大塚 暁
<https://ootsuka-kami.co.jp/>

創業1932年（昭和7年）
 資本金 1,000万円
 従業員 18人



担当者より

紙はもともとリサイクル可能な地球に優しい商品です。昨今では、脱プラの影響もあり、様々な代替品としてさらに注目を集めています。

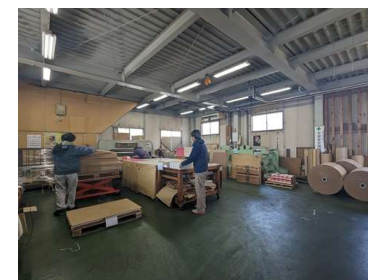


求む！
園芸店、
農業資材
関係者

土に還る紙製苗ポットを試作しました。「試してみたい！」という園芸店、農業資材関係の方、お気軽にご相談ください。

■ 紙問屋として出来る環境貢献

当社は一般包装用紙や農業資材・包装用紙等の産業用紙をメインに取り扱っていますが、お客様の要望に応じた種類、大きさを取り揃えることで紙資源の無駄を省けます。また切り落とした紙片でメモ帳を作るワークショップ等で、地域の子供達へ環境教育を実施。紙問屋として出来る環境貢献に取り組んでいます。



■ 紙を活用した製品の企画

そのまま土に植えられる苗ポットとして、プラ製苗ポットに代わる製品として紙製苗ポットを企画しています。紙マルチ（土に還りやすい素材）や和紙を使ったタイプ等を検証中。脱プラスチックなど、紙の製品活用について、是非ご相談ください！

